



札幌市議会議員

まつい隆文

手稲区

政務活動だより

事務所が
移転しました!

まつい隆文 政務活動室

〒006-0818 札幌市手稲区前田8条10丁目4-18

電話 (011)688-7360 FAX (011)688-7370

■発行日/平成31年2月25日(月)

プロフィール

昭和50年生まれ。高丘つくし幼稚園、手稲中央小、手稲中、札幌北高校、北海道大学法学部卒業。行政書士を経て、平成27年札幌市議会議員に初当選(1期目)。総務副委員長、冬季五輪招致・スポーツ振興調査特別委員会に所属。



まつい隆文が札幌市議会でも取り組んできた『地下鉄延伸の動き』を報告します!

地下鉄を手稲区へ!! 地下鉄延伸に 手稲区民の75.5%が賛成

(平成30年8月調査)

H28年
4月4日

秋元市長に地下鉄延伸の 要望書を提出

松井隆文、角谷隆司道議、中村裕之衆議院議員が札幌市役所を訪れ、連名による地下鉄の手稲区延伸の要望書を秋元克広札幌市長に提出しました。



H28年
10月21日

「手稲区延伸を含めて検討」 との答弁引き出す

松井隆文は、地下鉄とJRの接続を含めた手稲区への地下鉄延伸の効果について委員会質問し、札幌市から「これまで具体的に検証したことがない。今後、手稲区も含めた全市的な交通体系の中で、地下鉄などの公共交通ネットワークのあり方を考えてまいりたい」との答弁をいただきました。

H29年
10月19日

重要な施策についての 国との連携を要求

松井隆文は、オリパラや交通等の重要施策に関し、国との連携強化の重要性について委員会質問し、「国の支援を得られるように、国との関係強化をしっかりと進めていきたい」とする札幌市長の答弁をいただきました。



H29年
12月8日

オリンピック・ パラリンピックに関連し

松井隆文は、地下鉄網の整備は、札幌のまちづくりに必要な都市の再開発やバリアフリー化に資するものであり、こうした新たなレガシーにはしっかり投資すべきと委員会質問し、札幌市から「オリパラを契機とした都市の再開発やバリアフリー化といったまちづくりなど、新たなレガシーとなるものにはしっかり対応する」との答弁をいただきました。

2015
(H27)

H27年
12月2日

市が公共交通整備に 前向きな答弁

松井隆文の議会質問に対し、札幌市が「(公共交通に対する市民の満足度に関して)地域のニーズをしっかりと把握し、誰もが使いやすい公共交通となるよう努めます。さらに、ニーズや要望だけでなく、こうしようという積極的なことにも柔軟に対応していきたい」と答弁をいただきました。



2016
(H28)

H28年
9月30日

手稲町合併時の合意事項 「地下鉄乗り入れ」を追及

松井隆文の祖父は旧手稲町議会で合併に関わる委員会・協議会メンバーを務め、昭和42年の旧手稲町・札幌市の合併時に合意作成した合併基本構想には、地下鉄乗り入れに関する規定が明記されていることから、これについて議会質問し、札幌市が「合併時の合意とその当時の想いを継承し、今後も引き続き、手稲のまちづくりを進めてまいりたい」との答弁をいただきました。



2017
(H29)

H29年
3月22日

新幹線工事が与える 影響について質問

松井隆文は、札幌における新幹線の地下トンネル工事が、地下鉄延伸に与える影響について委員会質問し、札幌市から「鉄道・運輸機構に札幌市側から確認しており、新幹線工事は地下鉄手稲延伸に伴うさまざまなインフラ工事に困難を生じないものと伺っている」との答弁をいただきました。

2018
(H30)

H30年
11月19日

地下鉄網のあり方、検討を要請

札幌市議会自民党議員会から秋元市長への要望書において、地域交流拠点等のまちづくりを見据えた地下鉄網のあり方を検討するよう求めました。



※平成31年度以降、「札幌市 総合交通計画」を見直し・改定 することが決定しています。